

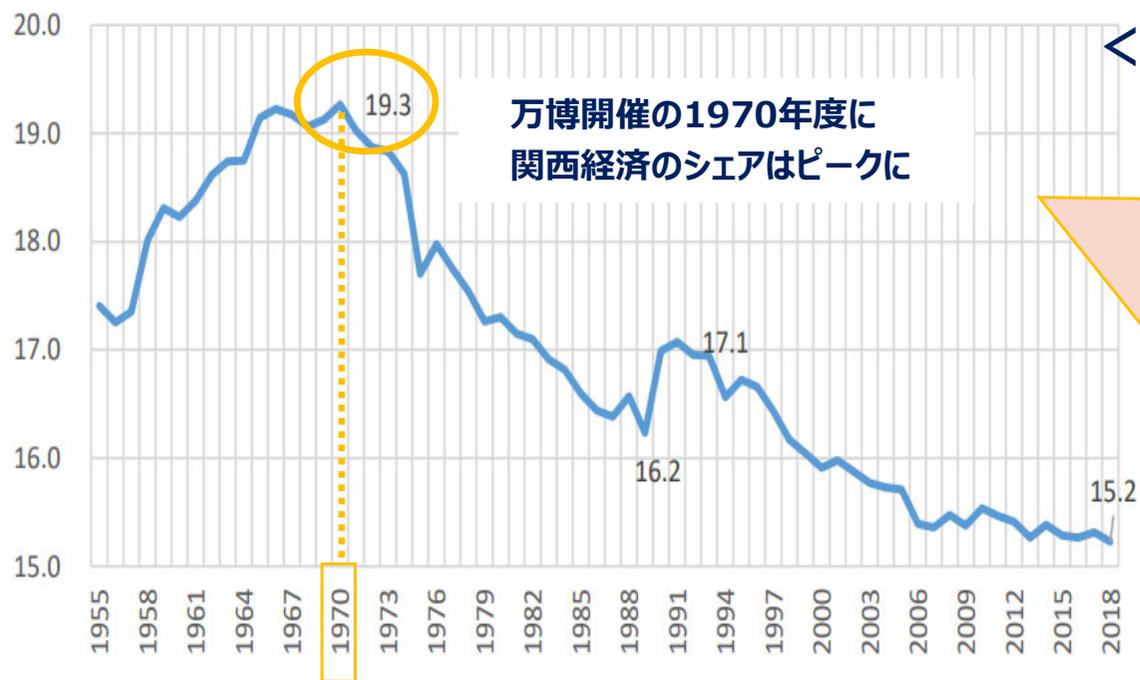
2025年大阪・関西万博を契機とした 今後の取組みについて

公益社団法人関西経済連合会

理事 井上 剛志

- 1970年の大阪万博は、イベントとしては成功裏に終わったものの、その後の関西経済の成長には必ずしも結びつかず、長期低落傾向となった。
- 今回の万博では、「未来社会の実験場」のコンセプトのもと、ライフサイエンス・ヘルスケア、モビリティ、カーボンニュートラルなど、さまざまな分野において最先端の技術・アイデアが集まり、披露された。こうした万博の成果を、今後の大阪・関西、ひいては日本の持続的な成長・発展につなげていかなければならない。

◆ 関西経済のシェア推移(1955~2018年)



＜長期的な地位低下の主な原因＞

- ・ 素材型産業構造の転換の遅れ
= 成長産業(サービス産業)への相対的な投資不足
- ・ 製造機能の府外流出
- ・ 本社機能の東京一極集中 等

(出典)APIR「APIR Trend Watch No.81」

※ APIR算出のGRPは各「県民経済計算」に基づいており、「県民経済計算」は工場・支店・営業所等が所在する県ごとにそれぞれの経済活動の成果が帰属すると考える。

○大阪・関西万博に関連して、各国から首脳等との懇談会・レセプションの開催、VIPの会合出席、ビジネスイベントの広報・集客、企業訪問などに関する依頼が**221件**（2025年4月～万博閉幕まで）あり、各国首脳等との懇談会・レセプションを例年を上回る頻度で実施した。公式参加国が企画する各種ビジネスイベントにも多数出席し、万博を契機とした国際交流やビジネスネットワークが拡大することとなった。



5/14 スウェーデン ビジネスサミット



5/21 オランダ ラウンドテーブル会議



6/20 ドイツナショナルデー-VIP茶会



7/11 中国訪日団との朝食会



7/19 米国ナショナルデー



9/13 フランスナショナルデー

◆KIC（関経連インターナショナル・クラブ）

- 関経連は、在関西総領事館 総領事に加えて、EXPO政府代表等の関係者を対象に「大阪・関西万博の成功を共に喜ぶ会」として、KIC（関経連インターナショナル・クラブ）を開催した。開催にあたっては、重要文化財である「綿業会館」を会場とし、館内ツアーも実施した。
- 当会と在関西外国公館の双方は、「アフター万博」が重要であり、万博を通じて築いたネットワークを更に発展させ、各国との連携強化につなげていく思いを共有した。

日 時 2025年11月6日（木） 17:45-20:00
（17:45-18:20 館内ツアー）

場 所 日本綿業倶楽部（綿業会館）

参加者 在関西外国機関
・ 総領事館・領事館、EXPO政府代表等
約30名

関経連

・ 松本会長
鈴木国際委員長
（丸一鋼管会長兼CEO） など



- 万博で披露されている技術等の具体的な社会実装に向けて、オール関西でプロジェクトの支援を行い、実装化・産業化を実現し、万博レガシーとして発展させていく必要がある。

Japan Health 2025

- アラブ首長国連邦 (UAE) で半世紀以上続く世界最大級の見本市の日本版。大阪・関西万博の開催にあわせて誘致され、医療機器・ヘルスケア分野で国内最大級の見本市として国内初開催。
- 2026年は、「WHX(World Health EXPO)」に名称変更し、大阪・関西万博のレガシーを継承する医療・ヘルスケア展として再び大阪で開催予定。あわせて、新たにアジア・太平洋エリアを対象とする保健大臣・医療系企業CXOが集結するグローバルサミットも開催する予定。



- 会期** : 2025年6月25日～27日 3日間
- 場所** : インテックス大阪
- 主催** : インフォーママーケットツジャパン株式会社
- 規模** : **46か国**から約**9,500名**が来場
- 目的** : 日本の医学会・ヘルスケア産業全体の活性化と競争力向上、イノベーションの創出を図る
- 概要** : ステージイベント (基調講演、**28セッション**(スピーカー約80名))
ブース展示 (**22か国**から**425の企業・団体**が出展)
ネットワーキング (交流会、商談会、レセプション)

Global Startup EXPO 2025

- 大阪・関西万博の開催にあわせ、世界中からスタートアップや投資家などの関係者を呼び、交流等の対話を通じて解決策を模索する国際的スタートアップイベントが政府主催で開催。スタートアップの役割・重要性や、日本・関西の優れたディープテックなどのスタートアップを世界に発信した。
- 本イベントの継続的な開催に向けて、関係者間で検討を進めている。

日時：2025年9月17日（水）、18日（木）

場所：大阪・関西万博会場内 EXPOメッセ（WASSE）

主催：経済産業省、近畿経済産業局、JETRO、NEDO

来場者：約9,560人（登壇者、出展者を含む）

概要：● ステージイベント（37セッション、ピッチ等）

➔登壇者120名以上、うち海外80名超

● スタートアップ等展示

➔145社 海外比率4割

● ネットワーキング

関経連の取り組み

・澤田副会長のセッション登壇 ・会員企業等への参加呼びかけ



セッションに登壇する澤田副会長



岸田元首相らが登壇したセッション

○ 観光分野は関西全体に及ぼす経済効果が大きい。神戸空港国際化、万博開催、大阪 I R 開業、など世界とつながる好機が続くことも見据え、万博後も官民が連携して関西の観光分野を伸ばしていくことが求められる。

◆2024年 わが国の観光産業の規模

- ・日本人の国内旅行消費額 **25兆1,175億円**
- ・訪日外国人旅行消費額 **8兆1,257億円**

(出典) 2025年2月、観光庁

◆KANSAIの認知率・訪問意向率 変化

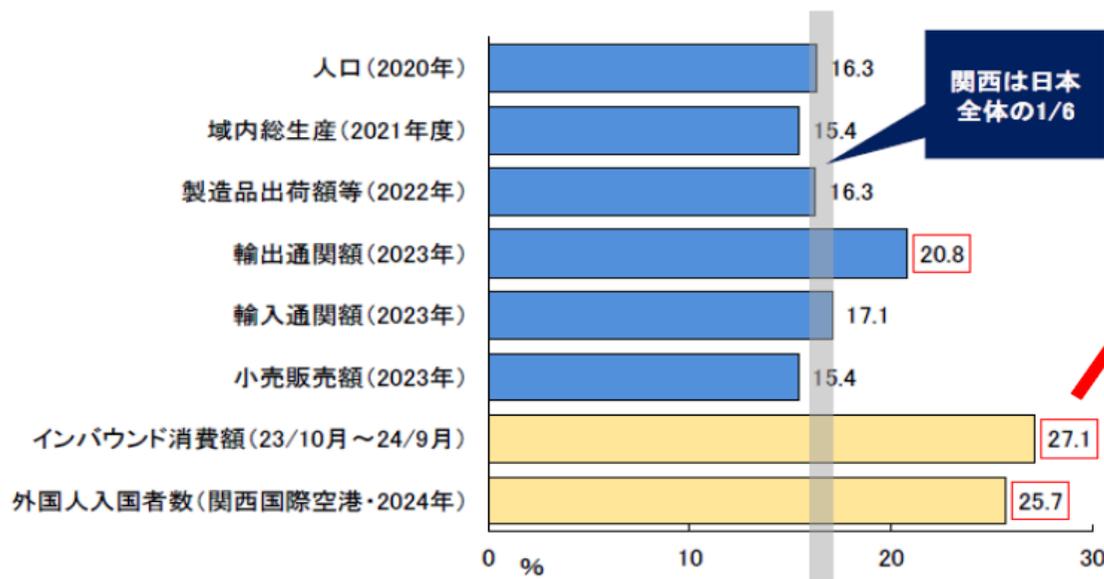
- ・認知率 2019年 49.5% ➡2024年 **70.8%**
- ・訪問意向率 2019年 32.3% ➡2024年 **56.3%**

〔※ 英国、フランス、ドイツ、米国、カナダ、豪州の6か国の未訪日の訪日検討層を対象に24年に関西観光本部がインターネット調査を実施。〕

(出典) 関西観光本部

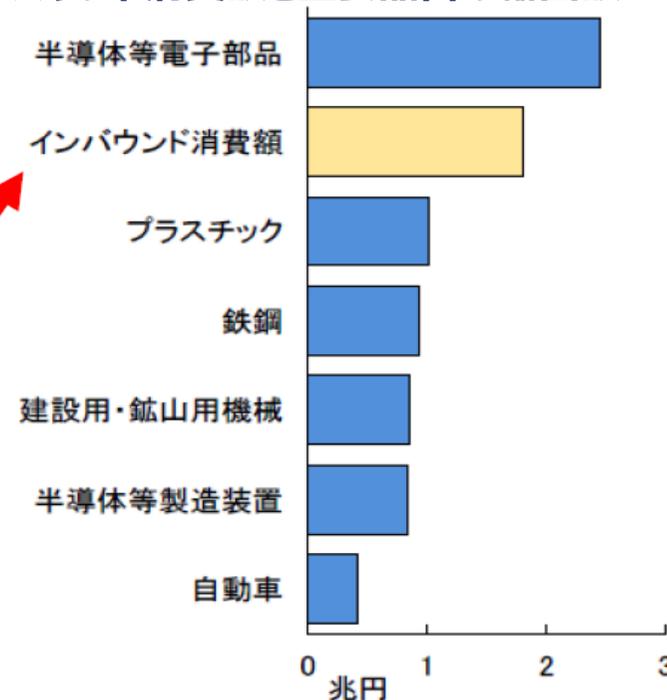
◆関西における観光産業の規模

(1) 全国における関西経済のシェア(関西2府4県)



(出典) 2025年2月、日銀大阪支店「関西インバウンド統計会議」資料

(2) 関西のインバウンド消費額と主要品目の輸出額



アフター万博が今後の日本経済・関西経済の発展に重要

- 万博を契機とした国際交流やビジネスネットワークをさらに拡大させていきたい。
- 万博で披露された新たな技術・サービスは、今後の社会課題の解決に必要。
これらを社会に実装し、日本経済、関西経済の飛躍に向けたスプリングボードとしたい。
- 万博後も官民が連携して、訪関西旅行者の増加と関西での滞在日数増加等を促進するなど、インバウンド観光促進に取り組んでいきたい。